

◆病院図書室ネットワーク紹介◆

北海道ライブラリー研究会について

藤本 衣代

I. はじめに

北海道病院ライブラリー研究会（以下研究会）は北海道における病院図書室の質的向上と発展を目的として1986年会員8名でスタートしました。

参加資格は、研究会の目的に賛同する医療関係機関図書室、並びにその担当者及びこれらの業務に関係する職員を対象とし、2011年4月現在、会員数は46名（機関会員28施設、個人会員18名）となっています。

II. 活動内容

研究会の主な活動としては、機関誌 News Letter の発行、研修会の開催、医学雑誌目録の発行・文献の相互貸借、ホームページ公開などがあります。研究会の運営は運営マニュアルに従い、役員と協力員で構成された各担当により分担して行っています。運営マニュアルの内容はその都度、見直し更新しています。

1. 機関誌 News Letter の発行

機関誌 News Letter は、研究会発足当初から発行を続けています。

1998年までは隔月発行、1999年の80号からは年4回の発行とし、会員の持ち回りで編集していましたが、2001年からは広報担当が編集する体制としました。2004年10月には100号を発行し、現在は26巻2号 通巻126号が最新号です。広報担当役員を中心に、総会、研修会報告、参加報告、会員からの近況報告などの他に、研修会の講演内容やシリーズ連載をするなど、内容の充実を心がけています（図1）。



図1 News Letter

2. 研修会の開催

研修会は年2回、春と秋に開催しています。内容はこれまでの研修会で回収したアンケートに書かれた要望や、その時々話題などを、教育担当役員が中心となって検討してい

FUJIMOTO Kinuyo

手稲溪仁会病院 医学情報室

kondoh@keijinkai.or.jp

ます。会員の経験年数に幅があるため、基礎的な内容を盛り込んだり、外部講師を招くなど、幅広い知識を身につけられるよう企画しています。毎回30名ほどの参加があり、広い北海道に点在する会員の交流の場としても貴重な機会となっています(図2)。



図2 研修会

3. 医学雑誌所蔵目録の発行・文献相互貸借

医学雑誌所蔵目録はPDF版とExcel版の2種類を作成し、ホームページの会員専用ページからダウンロードできるようにしています。現在は2007年版が最新ですが、各施設からの目録データ更新情報は、会員専用ページで随時確認できます。

4. ホームページの公開

ホームページには、研修会の内容や製本案内、News Letterの目次を掲載しています。

相互貸借については、新人向けに、マナーや業務の流れについてのページも整備中です。

会員専用ページには、会員名簿、医学雑誌所蔵目録を掲載している他、会員専用掲示板があり、日常業務の情報交換を行っています(図3)。

5. 現況調査

研究会では1994年より2003年まで図書

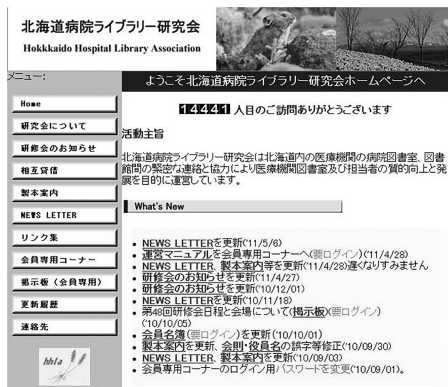


図3 ホームページ

室の文献動向を把握するため、「相互貸借に関するアンケート調査」として統計調査を行ってきました。2004年度より「北海道病院ライブラリー研究会現況調査」と名称を変え、調査項目も相互貸借中心から図書室業務全般とし、1年おきに実施しています。

調査項目はその都度検討し、調査結果は研究会活動の参考として活用しています。

Ⅲ. おわりに

当研究会では図書業務専任の会員が少なく、また専任であっても業務内容が多様化しているため、全会員を対象とした活動を行うのが難しい現状にあります。今後も現況調査を行うことにより会員の状況を把握し、ニーズに合わせた研究会活動や、病院が求められている医療に対し、組織の1つとしての病院図書室はどのような活動を行えばよいのか、考えていきたいと思えます。

参考文献

- 1) 勇 まゆみ：病院図書室の地域連携
北海道病院ライブラリー研究会の活動。
ほすぴたるらいぶらりあん 2011;36 (1):
23-24.